

進路指導室へようこそ

前橋女子高校進路指導部

令和5年度 MJ 進路通信 第43号

令和6年3月5日（火）発行

■卒業式が行われました

1日、本校体育館において卒業式が行われました。1・2年生の皆さんにとって、まさに前女での道筋に光を灯してくれた先輩方が前女を築立っていきました。これからはいよいよ皆さんの番です。今日は高校入試の合格発表があり、今度は後輩たちが皆さんを慕って入学してきます。4月までの一か月を、前女の伝統をしっかり伝えていける先輩になる1か月にしてください。

■スタサポ・マーク模試を今後の指針に

週末には1年生がスタディーサポート、2年生は高2マーク模試を受験しました。現学年での最後の模擬試験を、次年度を迎えるための大きな指針としてほしいと思います。

1年生のスタディーサポートは、この1年間で押さえるべき学習の基礎が身についているかを問うものです。ここで得点が伸びなかった教科や分野は、皆さんにとって最優先で取り組まなければならない課題です。後回しにすればするほど課題は雪だるま式に膨れ上がっていきます。2年生になり、授業のレベルがワンランク上がる前に、「弱点は早期解決」が鉄則です。授業の少ないこの1か月を、「1年間の総復習」の期間と位置づけ、春休みの計画までしっかり考えておきましょう。

2年生は、初めての共通テスト型の模試でした。形式の違いに戸惑うことはなかったでしょうか。これから本格的に志望校を探していく皆さんには、今後幾度となく「現時点で得点率〇〇%」「あと〇〇%で志望校のボーダー得点率に届く」といった言葉がよく聞こえてきます。自己採点を終えたら、是非今年度の共通テストの全国平均得点率、前女3年生の平均得点率、そして憧れの大学に合格した受験生の平均得点率と比べてみてください。まだ大きな差があると思いますが、その差を1年間かけて埋めていくのです。自分の現状にきちんと向き合い、ゴールまでの距離をしっかりと決めておきましょう。

■国公立大前期入試行われる

2月25日と26日に、国公立大前期入試が実施されました。前女の先輩方の多くが全国各地の大学に挑んできました。合格発表は大学ごとに異なりますが6日から10日の期間でほとんどの国立大学の合否が決まります。前期試験は大学ごとの個別試験のため大学

ごとに個性的な問題が出題されます。例年の傾向どおりの大学もあれば、傾向が変化した大学もありました。

■2024入試トピックス「過去問が出た！」

今年の入試問題の中で、驚きの問題が出題されました。埼玉大学の入試問題で、なんと2022年度と全く同じ問題が出題されたのです。英語の第3問・自由英作文の問題は、問題文が2022年度と一言一句全く同じなのです。自分だけ間違った問題が配られたのでは、と焦った受験生もいたそうです。

実は埼玉大学は、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学で、自学あるいは他学で過去に出題された問題を利用する、と宣言している大学なのです。

■入試過去問題活用宣言とは？

過去に出題された入試問題を知的財産としてデータベース化し、各大学のAPに即した良問があれば再利用して出題する、と宣言している大学で、主な宣言大学は以下の大学です。

<国立>旭川医大 弘前大 岩手大 秋田大 山形大 福島大 茨城大 宇都宮大 群馬大 埼玉大 東京学芸大 お茶の水女子大 横浜国大 富山大 金沢大 福井大 山梨大 信州大 岐阜大 静岡大 三重大 鳥取大 徳島大 愛媛大 高知大 佐賀大 長崎大 熊本大 大分大 宮崎大など42校

<公立>県民健康科学大 高崎経大 前橋工科大 埼玉県立大 新潟県立大など29校

<私立>東北医薬大 共愛前橋国際大 群馬パース大 高崎健康福祉大 城西大 女子栄養大 順天堂大 昭和大 昭和女子大 東京慈恵会医科大 東京農大 日本医科大 日本女子大など91校

■過去問の勉強は必要か～結局は「授業」だ～

ということは、大学の過去問を解くことは、大学によっては傾向をさぐる以上の意味があるということです。特に「良問」と言われる問題は受験校でなくても演習の価値があるわけで、質の高い問題をしっかり理解することが合格への近道といえます。では、「良問」はどうやって見分けるのか？それは授業の演習時に先生が紹介する題材がヒントになります。入試問題に精通した先生方が提示した選りすぐりの問題や問題集こそ、入試で通用する力を養成してくれるといえます。